

学位被授与者氏名	単 暁艶 (たん ぎょうえん)
論文題目	中国農村における「留守児童」問題と社会的支援 —児童家庭福祉の視点から—
論文審査結果の要旨	<p>中国の「留守児童」に関する統計資料や児童福祉分野の先行研究が少ない中で、現地調査を踏まえながら意欲的に研究に取り組んでいる。留守児童が生み出される社会の構造的問題の分析、抜本的対策の提示とともに、対処療法的な観点から児童福祉サービスの課題を導き出している。マクロ、メゾ、ミクロレベルの幅広い視点を含みながら全体を構成しているが、論旨の展開や整合性において遜色はなく、ダイナミックに問題をとらえている。</p> <p>中国の児童福祉は特別なニーズを有する子どもを対象とする保護的な福祉の段階にあり、予防的施策やすべての児童や家庭を対象とするような普遍的な福祉の段階には至っていない。1990年代の初頭に子どもの権利条約を批准している中国において、国連子どもの権利委員会は、留守児童の施設措置（寄宿制学校を含む）への懸念事項を示している。中国において社会問題化している留守児童問題に対して、子どもの権利条約や児童家庭福祉の理念を踏まえ、その解決策を提示していくことは、今後の中国の児童福祉施策の進展にとって意義のあるテーマであり研究である。特に、すべての児童・家庭を包含する社会的養護の概念を踏まえ、その類型から、保護者の養育の代替としての祖父母による家庭養護、施設養護としての農村寄宿制学校や、通所・在宅サービスとしての学童保育である「留守児童サービスセンター」について調べ、具体的に課題を導き出している点は、児童福祉の実証的研究としての固有性・独自性が見られるところであり大変評価できる。</p> <p>平成28年2月8日に、北九州市立大学北方キャンパス4号館101教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士（人間関係学）として十分な内容であると判定した。</p>